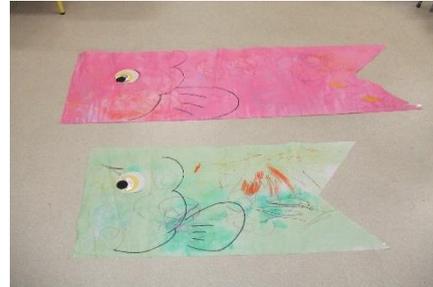


教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
こいのぼりをつくろう	小	学級活動 3年 (図画工作)	竹下 久実 黒川 昌希子

<ねらい>

- ・クレヨンでたっぷり描いたり霧吹きで絵の具を吹きかけたりして、こいのぼりに模様をつけることを楽しむ。
- ・いろいろな素材や道具に親しみながら作品をつくる。



<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

導入として、手持ちサイズのこいのぼりを見ながら、「♪こいのぼり」の歌を歌って楽しい雰囲気の中で、何を作るのかをイメージを膨らませた。

- ①障子紙でできた大きなこいのぼりの形の  
下絵に、クレヨンで好きな絵を描く。
- ②霧吹きで色付ける。



- ・おかあさんこいのぼりと、こどもこいのぼりを作った。
- ・「♪こいのぼり」の歌を歌いながら、制作活動に取り組んだ。

③みんなで教師が作った目をのりでつけた。

④歌に合わせて、できあがったこいのぼりを教師が揺らし、みんなで歌いながら、できあがり喜び合った。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・霧吹きの色付け後も色映えするような5色のクレヨンを先に教師が選び、その中から選んだ色のクレヨンで好きな絵を描くことができた。
- ・線をなぞったり、大きく手を動かして描いたりして、クレヨンの活動を楽しめた。
- ・霧吹きの活動が好きな児童が多いので、自分からどんどん白いところを探して色をつける様子がみられた。
- ・描画活動に苦手意識を持っている児童もみんなの様子を見ながら、小さく塗ったり点をたくさん描いたりして、無理をすることなく取り組むことができた。

<その他（材料、費用、購入先等）>

障子紙、クレヨン、霧吹き、絵の具、いろがみ（金、銀、黒）

